



平成 25 年 9 月 12 日

各 位

会社名 株式会社 石井 表 記
 代表者名 代表取締役 石井 峯 夫
 (コード番号 6336 東証第2部)
 問合せ先 取締役 渡邊 伸樹
 管理本部長
 (TEL 084-960-1247)

平成 26 年 1 月期第 2 四半期累計期間における業績予想値との差異
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 3 月 22 日に公表しました平成 26 年 1 月期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日）の業績予想値と本日公表の平成 26 年 1 月期第 2 四半期累計期間実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、平成 26 年 1 月期通期（平成 25 年 2 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日）の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 1 月期第 2 四半期累計期間業績予想値と実績値の差異について

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,755	百万円 132	百万円 61	百万円 48	円 銭 4.70
実績値(B)	3,320	9	△13	33	2.82
増減額(B-A)	△434	△123	△74	△14	△1.88
増減率(%)	△11.6	△92.9	-	△30.5	△40.0
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 1 月期第 2 四半期)	3,980	△166	△258	309	39.41

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,459	百万円 124	百万円 52	百万円 45	円 銭 4.31
実績値(B)	3,067	0	△22	42	4.02
増減額(B-A)	△392	△123	△75	△2	△0.29
増減率(%)	△11.3	△99.2	-	△5.1	△6.7
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 1 月期第 2 四半期)	3,652	△155	△234	304	38.85

2. 差異の理由

以下の理由により、前回予想（平成 25 年 3 月 22 日公表）の平成 26 年 1 月期第 2 四半期累計期間における業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じるものであります。

（1）売上高

電子機器部品製造装置において、スマートフォンやタブレットPC向けHDI（高密度）基板の需要拡大による顧客の増産投資を見込んでおりました。HDI基板向け製造装置の設備投資は増加したものの、これらの台頭によりパソコン市場が落ち込んだためプリント基板製造装置全体の設備投資が冷え込む状況となりました。また、低価格な中国製造装置の普及等が影響し、プリント基板製造装置の販売が減少したことにより、売上高が前回予想を下回りました。

ディスプレイおよび電子部品においては、パチスロ機関連売上高は概ね計画通りとなりましたが、その他の売上高については、売上高増加を見込んでいた新規ターゲットである医療機器などの成長分野への営業活動に遅れが生じたことにより前回予想を下回りました。

（2）営業利益

人件費および経費の圧縮を進めたものの、（1）のように売上高が前回予想を下回ったこと、また、電子機器部品製造装置において、製品保証費用が前回予想を超えて発生したため、営業利益が前回予想を下回りました。

（3）経常損失

当社が想定した為替相場が有利に動いたため為替差益が前回予想を上回ったものの、営業利益の減少が影響し、経常利益は前回予想を下回り経常損失となりました。

（4）当期（第 2 四半期累計期間）純利益

取引金融機関に提示した経営改善計画にのっとり、平成 26 年 1 月期第 2 四半期累計期間において、投資有価証券の一部売却による特別利益を計上したものの、経常利益の減少が影響し、当期（第 2 四半期累計期間）純利益は前回予想を下回りました。

3. 平成 26 年 1 月期通期業績予想の修正

（1）連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,380	百万円 1,035	百万円 892	百万円 864	円 銭 107.28
今回修正予想(B)	7,189	126	42	84	7.78
増減額(B-A)	△3,191	△909	△849	△780	△99.50
増減率(%)	△30.7	△87.8	△95.2	△90.3	△92.7
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 1 月期)	7,791	△15	△105	812	102.34

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,718	百万円 980	百万円 836	百万円 821	円 銭 101.82
今回修正予想(B)	6,670	97	10	67	5.69
増減額(B-A)	△3,047	△883	△826	△754	△96.13
増減率(%)	△31.4	△90.1	△98.8	△91.8	△94.4
(ご参考) 前期実績 (平成25年1月期)	7,068	△26	△137	893	112.58

4. 修正の理由

以下の理由により、前回予想(平成25年3月22日公表)の平成26年1月期通期業績予想数値を修正するものであります。

(1) 売上高

電子機器部品製造装置において、インクジェットコーターの技術の横展開を計画しておりましたが、新規事業分野に参入するのに時間を要しており、平成26年1月期の売上高を見込むことが困難となりました。また、プリント基板製造装置の販売は、パソコン市場の落ち込みやデジタル家電の不振が継続するものと予測され、売上高が前回予想を下回る見通しです。

ディスプレイおよび電子部品において、平成25年1月期のパチスロ機関連売上高が増加したことにより、平成26年1月期においても引き続き一定の売上高が見込まれると想定しておりましたが、当社得意先の営業戦略の変更が影響し、パチスロ機関連売上高は前回予想を下回る見通しです。また、その他の売上高についても、第2四半期での営業活動の成果が現れると見込むものの売上高減少分を補うに足らず、前回予想を下回る見通しです。

(2) 営業利益

引き続き人件費および経費の圧縮に努めていくものの、(1)のように売上高が前回予想を下回ると見込まれること、また、電子機器部品製造装置における平成26年1月期第2四半期累計期間に製品保証費用が前回予想を超えて発生した実績に鑑み、通期においても製品保証費用が前回予想を超えて発生すると見込まれ、営業利益が前回予想を下回る見通しです。

(3) 経常利益

平成26年1月期第2四半期累計期間において当社が想定した為替相場が有利に動いたため為替差益が前回予想を上回ったものの、営業利益減少の影響により、経常利益が前回予想を下回る見通しです。

(4) 当期純利益

取引金融機関に提示した経営改善計画にのっとり、平成26年1月期第2四半期累計期間において投資有価証券の一部売却による特別利益を計上したものの、経常利益減少の影響により、当期純利益が前回予想を下回る見通しです。

<業績予想に関する注意事項>

この資料に記載しております業績予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますので、多分に不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより、この資料に記載している業績の予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

以 上